

平成 30 年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書



金澤翔子揮毫パフォーマンス

平成 31 年 3 月
出雲崎町教育委員会

目 次

	頁
はじめに	1
I 総合教育会議	3
II 教育委員会の会議及び活動状況	4
III 学校教育	7
1. 出雲崎小学校グランドデザイン	7
2. 出雲崎中学校グランドデザイン	12
3. 学校支援地域本部事業	16
IV 社会教育事業の実施状況	20
1. 社会教育・公民館事業	20
2. 図書館事業	26
3. 社会体育事業	28
V 学校・社会教育施設の整備充実	32
VI 学識経験者からの総合評価	33
VII その他	34

はじめに

1 点検評価の公表

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務付けられている。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、平成30年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

2 学識経験者の知見の活用

平成30年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、前年度と同様に、元長岡市立北中学校長の山崎十五郎氏（柏崎市・旧西山町在住）から、第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想及び基本計画をふまえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

3 報告書の内容から見られる評価

- (1) 「教育委員の活動状況」については、教育委員としての見識を深め、教育行政に反映させるべく、定例の教育委員会会議の終了後に、教育に関する直近の話題や諸問題について、講義と意見交換を合わせた勉強会として「**教育委員研修**」を実施している。

また、他町村の教育委員会を傍聴する機会を設け、教育委員同士の研修を行うなど来年度以降も教育委員の資質向上に向けた他町村との意見交換会の予定も決まり活動の充実が期待される。

- (2) 確かな学力向上に向けて小学校1・中学校1のメリットを生かすため児童・生徒主体の授業構成、振り返りを重点にしており、また発達段階に応じて学ぶ環境や習慣の基礎、基本を大切に教育を実践している。学力テストの結果では小学校は全国平均並みですが、中学校は全国平均を大きく上回る結果となっており、授業の振り返りや週末課題の定着が図られていると考えている。

- (3) 学習指導、生徒指導の教育活動の充実を図るため、教員補助を小学校3名、中学校に2名配置することや小4から中3まで外国語を通じて表現力、コミュニケーション力を身に付けさせるため英語指導員を配置している。

また、理科や数学に対する子供たちの興味、関心が薄れ、学力低下との指摘があることから、小4から小6の理科には「**理科支援員を配置**」し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実及び学力向上に結び付くよう取り組んでいる。

- (4) 中学校に「**情報教育支援員**」を配置し、授業における理解や興味を深めるため電子黒板やタブレットを使った授業を行うなど、先生の負担軽減や生徒が授業に注目し易い環境を整え、多角的に教員のサポート体制の充実を図っている。小学校も今年度から情報教育支援員を配置し、同様の取組を行っている。

(5) 「社会教育」については、一人ひとりが主体的かつ積極的に社会教育事業に参加推進できるように環境整備を行ってきた。

特に「出雲崎総合大学」事業は、20年間継続している事業であるとともに、多彩な事業メニューを組み、年々参加者が増加しており、中核となる事業として事業展開がなされている。

(6) 小学校児童の放課後の学びの場として、昨年度から放課後子ども教室を実施し、講師による「英語活動」を行っている。また行政機構改革により保健福祉課で行っていた「放課後児童クラブ」を今年度から教育課で実施しており児童の健全な育成に努めている。

(7) 学校・家庭・地域の連携促進事業により、子供たちが校外活動などで町内の自然や環境、農業体験などに取り組んだ。大勢のボランティアにより小中学校のグラウンド除草や小学校の裏山「ほなみが丘」整備に活躍頂いた。

4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取組んで参りたい。

(1) 児童・生徒が一人の大人として成長していくためには、学校における教育だけでなく、地域や地域の人たちとの関わりが重要となってくる。

「出雲崎町教育計画」では、このような学校環境を考えたとき、小学校入学から中学校卒業までの9年間を小中連携した教育を行うことにより効果的な指導ができる。義務教育のまとめとなる中学校卒業時の“具体的な子ども像”を描き、そのことを実現するために各発達段階をふまえて、生活面（規範意識、社会性、ものの見方や考え方等）と学習面（知識理解、活用力等）を中心に、指導の方策・内容に共通性を持たせることが必要となる。実際の指導では、目標を連鎖させて「学校評価」「教員評価」を活用し、小中学校教職員が同一歩調で児童生徒の指導に当たるよう取組んでいく。

(2) 学習面では小中学校の9年間で発達段階に応じた指導を進めているが、学力テスト結果からさらに家庭学習の充実、定着を図り学力向上に努めたい。

総合学習等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を交付するなどで、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。

(3) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、教育補助員や介助員の配置により特性に応じた指導、支援を行い、一人一人の基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。学校側からも人的確保が充実されており喜ばれている。

(4) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。青少年育成や成人の学習活動で教室、講座、イベントなど行政が行うものに加え、自主的な団体活動の学習機会の充実を図っていく。

(5) 子供の一貫した見とりや指導の重要性から、知育、徳育、体育、地域の魅力、郷土愛を重点に取組み、保・小・中の連携を一層深めることとしたい。

I 総合教育会議

- (1) 新教育委員会制度により、町長が招集する「総合教育会議」を平成30年6月14日開催し、町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、教育現場の現状や児童・生徒の様子について話し合いを行いました。

出席者	出雲崎町長	小林 則幸
	教育長	佐藤 亨
	教育委員	村越 隆夫
	教育委員	内山 才子
	教育委員	佐藤 正志
	教育委員	大磯多華子
	教育課長	矢島 則幸
	管理指導主事	高畑 秀紀
	教育課参事	矢川 浩之
	庶務学校教育係長	吉岡 育子

話し合い事項

- 1 出雲崎町の教育現場の状況について（教育長）

新たな委員が2名いるため、新教育委員会制度や総合教育会議の趣旨を説明。また学習指導要領が改訂されるため30年度から移行措置で外国語活動を行うことや学校における働き方を見直し、教育委員会で取り組むべく方策について説明を行った。

- 2 児童・生徒の様子について（管理指導主事）

小・中学校の児童生徒の様子、教職員の様子を把握し、校長のリーダーシップのもとでの教育活動の理解を求めた。また特別支援を必要とする児童生徒の指導や今年度の主な研究会の開催日程や出雲崎町教育計画の実践・評価をお願いした。

- 3 通学路の安全確保について（教育課長）

通学路における不審者事案で児童生徒の安全確保の取組が強く求められており、登下校時における防犯教育の充実や家庭・地域による見守り活動に努める対策の意見交換を行った。



防犯教育の様子

Ⅱ 教育委員会の会議及び委員の活動状況

(1) 定例会および臨時会の開催（定例会 5 回、臨時会 2 回）		
会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4/17	奨学金の貸与 学校評議員、社会教育委員、公民館運営審議会委員 スポーツ推進委員、教育行政点検評価員の委嘱 図書館協議会委員、スポーツ推進審議会委員の任命 (議案 8 件)
6 月定例会	6/14	奨学金貸与基金の設置・管理及び運営に関する条例 及び同条例施行規則の一部改正 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する 基準を定める条例の一部改正 小・中学校管理運営規則の一部改正 補正予算 (議案 5 件)
7 月臨時会	7/25	使用教科書用図書の採択 (議案 1 件)
9 月定例会	9/5	補正予算 (議案 1 件)
12 月定例会	12/5	補正予算 (議案 1 件)
3 月定例会	3/7	H29 年度補正予算、H30 当初予算 教育委員会表彰 特別職の職員で非常勤の職員の報酬及び費用弁償 に関する条例の一部改正 文化財の指定 指定管理者の指定 (議案 6 件)
3 月臨時会	3/20	教職員及び教育委員会の人事異動 (議案 1 件)
(2) 教育委員研修		
・ 新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会（見附市 7/13）		
・ 教育委員会傍聴・意見交換会（刈羽村 1/23）		
・ 庁内研修 5 回 「4/17・6/14・9/5・12/5・3/7」		
(3) その他の参加活動状況		

・ 転入教職員面識会 (4月2日/月)
・ 小・中学校入学式 (4月9日/月)
・ 町教育研究会研修会、総会 (5月2日/水)
・ 文化芸術鑑賞会 (5月23日/水)
・ 出雲崎小学校運動会 (5月19日/土)
・ 町成人式 (8月16日/水)
・ 出雲崎中学校体育祭 (9月11日/火)
・ 出雲崎小学校音楽発表会・絵画展 (10月20日/土)
・ 出雲崎中学校学習発表会 (10月20日/土)
・ 生涯学習フェスティバル (11月2日/金・3日/土)
・ 未来の夢こども体験講演会 (10月23日/火)
・ 学校施設営繕視察検討会 (12月5日/水)
・ 深めよう絆県民の集い (9月26日/水)
・ 出雲崎小学校ハッピーハート集会 (10月30日/火)
・ 出雲崎中学校いじめ見逃しゼロスクール集会 (12月5日/水)
・ 町教育委員会表彰伝達式 (3月7日/木)
・ 中学校卒業式 (3月4日/月)
・ 小学校卒業式 (3月25日/月)

▶ 概要

平成30年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を2回開催し、23件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

また、教育委員の活動状況は、年間を通して学校行事や研修会、社会教育行事等に積極的に参加していただくなど、自らが教育委員としての資質の向上や、児童生徒の活動状況を把握でき、幅広い教育分野の中で活動いただいた。

▶ 成果と課題

- (1) 町長と教育委員による**総合教育会議**の開催より、教育委員会制度の再確認や特別支援教育の充実、キャリア教育の推進、学校支援体制の強化を図るなど、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- (2) **教育委員会**を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委

員と事務局の情報共有を進め審議の活性化に努めた。

- (3) **小・中学校の休業日（夏休み）**について、現在の国の学習指導要領で定める授業時数の確保が困難になってきていることから、現行の休業日の改正を行い、学校長の裁量で柔軟に対応できるようになった。
- (4) 生徒指導、特にいじめや不登校に対しては、いたずらによる言動や不登校気味の児童・生徒が見られたが、即対応したことで大きな問題にはならなかった。今後も児童・生徒の様子を教職員が把握し、何かあった時は校長のもとで初期対応をチーム学校で取り組む体制を構築していく。また「**出雲崎町いじめ防止基本方針**」による取組や学校とPTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。
- (5) 新潟市の誘拐事件や大阪地震のブロック塀の対応が言われる中で、喫緊の課題として学校における防犯教育の強化や一人帰宅路の安全確保の徹底について、見守り活動や学校・行政だけでなく地域からも協力いただいた。
- (6) **自然体験**として小4～小6までを対象にスキー教室を行った。また小1～小3も雪遊びやスケートを通じて新潟県内に住みながら冬の体験活動の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境で心身、技能を高める目的で今後も続けていく。
- (7) **教育支援相談**は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員（保健師）による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門員による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (8) 高校生の通学に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、**通学定期券購入費用の一部を助成**しており、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にしている。また、昨年度からは若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学した学生が卒業後に当町に定住し就職された場合に返還する奨学金の一部を助成し、着実に成果を上げている。
- (9) 小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に対し、入学祝い金の支給を昨年度より早め、入学前の2月に支給し、入学準備に保護者の経済的負担軽減が図られた。



総合学習（新潟巡検 中2）

Ⅲ 学校教育

1. 出雲崎小学校

知育

主体的な学び

○「確かな学力」向上のために

重点的な取組

- * 朝読書、朝学習の充実と基礎学力の向上
- * 授業のUD化と個人の困り感に対応した指導
- * 学年×10分以上の家庭学習指導の徹底
- * 児童の「問い」を大切にした授業改善の推進
- * 表現力の向上



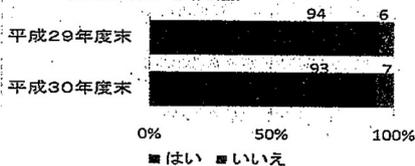
4年研究授業



1年生活科「やぎを迎える会」

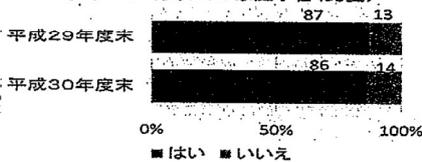
・「授業がわかる」と肯定的に考えている児童は、昨年度と比べ、ほぼ横ばいです。今後も学習の見通しをもたせ、主体的な学習を促していきます。

授業が分かる(児童)



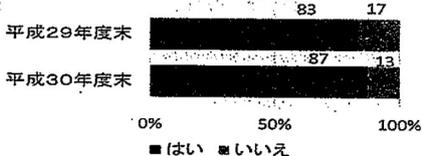
・家庭学習の習慣化している児童の割合は昨年度とほぼ同じです。進んで家庭学習に取り組む児童が増え、その習慣が定着してきています。

学年×10分以上の家庭学習(児童)



・多くの地域の方から活動に関わっていただき、活動の充実した活動ができました。また、活動の見通しをもつことで、意欲をもって学習に取り組むことができ、児童の意識も向上しています。

生活科や総合的な学習でめあてをもち、学習したことを文章や絵などにまとめている(児童)



次年度に向けて

★児童一人一人に学習意欲をもたせるために授業の導入を工夫していきます。また、めあてをもたせ振り返りを行うことで一人一人が「わかる・できる」と感じる授業を工夫していきます。

★「自分から進んで行う家庭学習」の定着を目指します。

徳育

豊かな心

○豊かな心の育成のために

重点的な取組

- * 「心耕」を大切に活動と指導
- * 基本的な生活習慣の定着と向上
- * 「命を大切に作る心」を育てる道徳教育の充実
- * 特別支援教育や特別活動、異学年交流等を通じた思いやりと助け合いの心の育成
- * 児童同士、児童と地域の触れ合いの場の設定

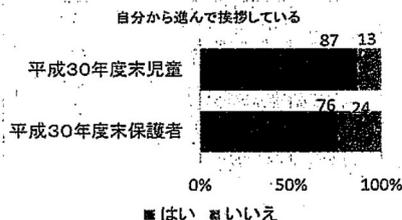


あいさつ運動

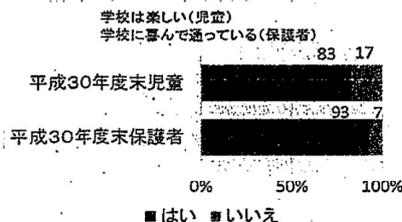


ふた葉班オリエンテーリング

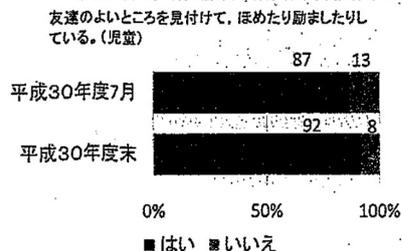
・あいさつ運動などの場面での挨拶はよくなってきていますが、日常生活の中での自然な挨拶には課題を感じています。地域での挨拶、教室や廊下での望ましい挨拶が習慣化するようにしていきます。



・児童の17パーセントが「いいえ」と答えていて、昨年度に比べてわずかに増加しています。より充実した教育活動を展開し、学校は楽しいと感じられるように取り組んでいきます。



・児童アンケートの結果から、2学期末は肯定的な評価が増えています。友達のよさに気づき、相手を思いやる気持ちの高まりが感じられます。



次年度に向けて

★児童会との連携を図り、挨拶や廊下歩行等、児童の手で約束を作るなど、主体的な取り組みを進めながら、約束を守っていく意識を高めていきます。

★今後も児童一人一人との面談や定期的開催している「子供を語る会」を通して児童理解に努めていきます。

体育

健康な体

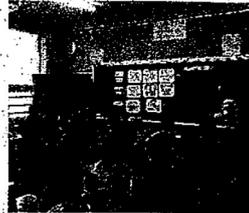
○健やかな体づくりのために

重点的な取組

- *保健学習や学級指導、給食時の指導の徹底
- *メディアコントロール能力を育てるための家庭ルールづくりの奨励
- *体力向上のためにプログラム化した運動の実践
- *遊びが十分できる環境づくり（学校の施設設備の充実）
- *発達段階に応じた食育のための学習の充実

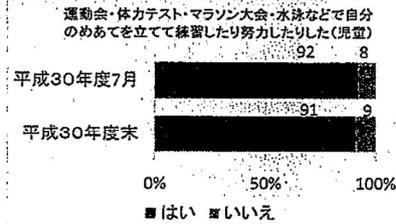


マラソン大会

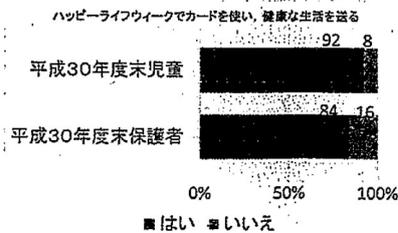


食育の授業

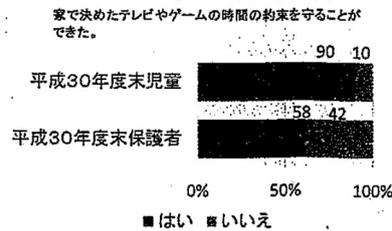
・水泳、マラソン練習等で前年度の自分の記録を基に今年度の目標設定をして取り組みました。目標を明確にすることで一生懸命に頑張る姿が多くみられました。



・ハッピーライフウィークの取組の前に前回の結果を配布して振り返りを行うことで意欲付けを図ることができました。今後も健康的な生活が継続できるような取組を図っていきます。



・アンケートの結果、メディア時間の約束を守ることの認識は、児童と保護者に大きな開きがありました。有効な時間の使い方について意識を高めていきます。



次年度に向けて

- ★体カテストでは、課題となる種目の運動につながる運動を体育等の準備運動に取り入れて課題の改善を図っていきます。
- ★ハッピーライフウィークの実施期間だけでなく、継続して取り組めるような手立てを考えていきます。

平成30年度 出雲崎小学校

学校評価だより

「三つの愛」～認め愛、励まし愛、響き愛～

「三つの愛」を合い言葉に、全校児童と全職員で頑張ってきました。年度末にあたり、今年度の重点目標の評価結果と、来年度に向けての取組についてご報告します。

* ↑：中間評価と比較してアップ ↓：中間評価と比較してダウン

児童アンケート結果		中間評価	年度末評価	比較
1	授業に進んで取り組んでいる。	89.7	89.4	
2	授業がわかる。	92.3	93.0	
3	学年×10分以上の家庭学習を忘れずにできた。	86.4	86.1	
4	生活科や総合的な学習の時間にめあてをもち、学習したことを文章や絵・図などにまとめている。	84.5	86.7	
5	学校のきまり(廊下歩行・始業の始まり)を守り、落ち着いて生活をしている。	88.4	85.4	↓
6	自分から進んであいさつをしている。	85.1	86.7	
7	友達のよいところを見つけて、ほめたり励ましたりしている。	86.5	91.8	↑
8	学校は楽しい。	87.2	82.9	↓
9	出雲崎小学校は、はじめのない学校だと思う。	81.9	83.5	
10	テレビやゲームの時間を家の人と話し合って決め、約束を守っている。	83.9	90.4	↑
11	ハッピーライフウィークでカードを使い毎日健康な生活を送ることができた。	91.6	91.8	
12	休み時間や体育の時間に進んで運動した。	92.3	88.0	↓
13	運動会・体力テスト・マラソン大会・水泳などで自分のめあてを立てて、めあてに向かって練習したり努力したりしている。	92.3	91.1	

保護者アンケート結果		中間評価	年度末評価	比較
1	授業が分かっている。	86.8	88.5	
2	学年×10分以上の家庭学習(宿題を含む)を必ずしている。	85.3	82.9	
3	時間を守ったり、歩行や自転車乗り等のルールを守ったりしてきまりよく安全に生活している。	91.2	95.0	↑
4	朝や就寝前に進んであいさつをする。	75.7	75.7	
5	友達のよいところやがんばっていることを家で話すことがある。	84.4	83.6	
6	喜んで学校に通っている。	91.2	92.9	
7	困ったことや悩み事があった時、学校は真剣に相談にのってくれる。	91.2	92.1	
8	家で作ったテレビやゲームのきまりを守って遊んでいる。	66.9	57.9	↓
9	健康的な生活(睡眠時間・起床時間・朝食など)を送っている。	83.7	84.2	
10	家で体を動かして遊んだり運動したりしている。	78.5	77.1	
11	子供のよいところやがんばっていることを認め、励ましている。	88.9	88.6	
12	学校・学年だより、ホームページやブログなどで学校や学年の方針や情報が伝わっている。	87.5	90.7	↑

今年度の学校評価は7月の中間評価、12月の年度末評価の2回行いました。児童向けの「学校生活アンケート」保護者向けの「教育活動アンケート」を行いました。上の表の「中間評価」「年度末評価」欄は、各項目の集計結果の平均値を百分率(%)で表しています。

中間評価と年度末評価を比較して、3ポイント以上変化があった場合は矢印で示してあります。

また、アップしている項目とダウンしている項目がありますが、概ね80%以上は良い評価と受け止めています。80%未満の項目についてはさらに活動を充実させていきたいと考えています。

保護者の声



紙面の関係で全員の皆様の声を掲載できませんでした。ご承知ください。

○肯定意見 ●課題

- 入学して9ヵ月程経ちましたが、その間、時々学校に行きたくないと言う日もありました。しかし、ほとんどの日は、家を出る何分も前からランドセルを背負っていきいきと登校しています。
- 勉強に自信がなく、やる気をなくしていた我が子ですが、先生のご指導のおかげで、1学期→2学期→現在と見違える程学習に意欲的になりました。とても感謝しております。
- 親善音楽会や長岡うまい米コンテストへの参加で、町外の人たちとの交流ができて良かったと思います。本人にとって良い経験になったと思います。
- 子供が元気に毎日学校に通える事をとてもありがたく感じています。これからもよろしく願います。
- 「いじめ」にあたるようなお話を、クラスの保護者からよく耳にすることがあります。子供たちの言動をより見て頂き、いじめが絶対に起こらないように努めて頂きたいと思います。
- ブログを楽しみにしているのですが、前年に比べ写真ばかりでコメントが無く、少し淋しさを感じています。文章が少しでもついてくれると読み応えが出るのではないのでしょうか。
- 学校で撮った写真を販売したりはしないのでしょうか。せめてカラーで見たりできるといいです。学年だよりでの写真は白黒でよくわからないものが多く、残念です。
- Aバスの子供の数が多いのではないか（冬期間）。立つ児童が多い。

保護者の声を受けて

*言葉遣いや友達との接し方について

友達同士の関係の中で、時に乱暴な言葉を使ってしまう児童が見られることは確かです。その都度、指導を行っているところであります。具体的な言葉や行いについて注意を促すことはもちろんのことですが、他方、子供と子供の関係性や教師と子供との関係性をよくする取り組みや学習意欲を高める取り組みも積極的に行い、充実感をもち安定した気持ちで学校生活を送れるようにしていきます。

*学習意欲を高める指導について

今年度グランドデザインの重点目標の一つは「意欲的に学ぶ子ども」です。意欲的に学ばせる手立てとして、当校では、適切な学習課題の設定、学習課題に対して粘り強く取り組むための活動の工夫、授業の振り返りなどを重視しながら学習に取り組んでいるところです。これらのことは、一朝一夕で達成出来るものではありませんので、粘り強く着実な取り組みが大切です。ご意見にもあるように、学習や登校に積極的な姿勢が見られることは、これらの取り組みの成果としてみることもできます。今後も粘り強く取り組んでいきます。

*ブログや写真について

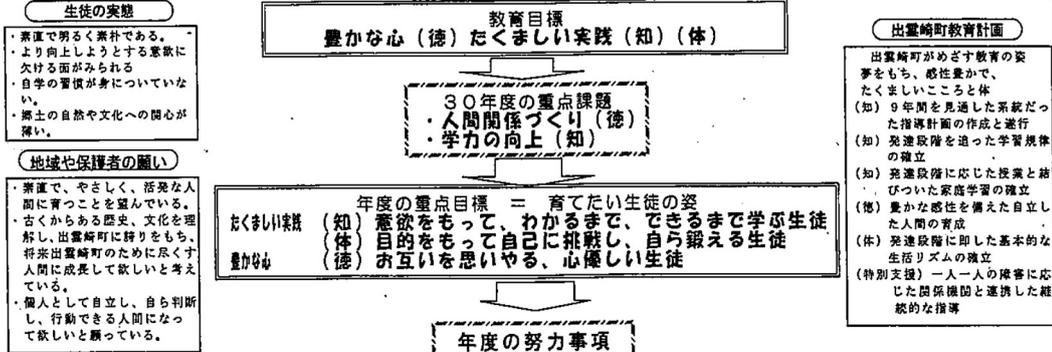
ブログをご覧いただきありがとうございます。今後とも、学校の様子が少しでも皆様に伝わるよう、取り組んでいきます。なお、写真については販売の予定はありません。ご了承ください。

*スクールバスについて

スクールバスについては、今年度からバスの台数が減ったり、出雲崎車庫が廃止されたりするなど、昨年度までとは違った状況となっています。また、冬季バスのルート決定に際してもそれらの事柄が関係しているため、昨年度までのようにはならないのが実情であります。以前に比べて窮屈な状況があるかもしれませんが、以上のような状況についてよろしくご理解・ご了承いただきますようお願いいたします。

2. 出雲崎中学校

平成30年度 出雲崎中学校グランドデザイン

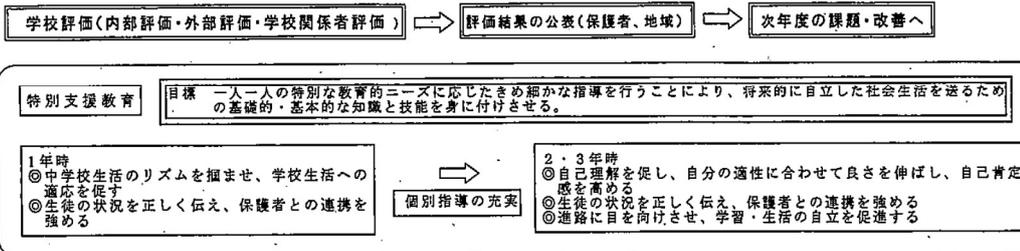


重点目標	徳：お互いを思いやる心優しい生徒	知：意欲をもってわかるまでできるまで学ぶ生徒	体：目的をもって自己に挑戦し自ら鍛える生徒
努力事項	<ol style="list-style-type: none"> 相手の立場を考えて行動するコミュニケーション能力を育成する。 互いに関心をもち、関わり合う活動を通して自己肯定感、自己有用感を育む。 人格教育・同和教育の充実を通して、差別や偏見をしない・させない人間関係づくりを醸成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 知識・技能の着実な習得と、活用場面の充実を通して、学びの実感を育む。 言語活動の充実を通して、考えを深められる生徒を育成する。 キャリア教育の充実を通して、学ぶ意義や目的を見出し、主体的に学ぼうとする意欲を育む。 	<ol style="list-style-type: none"> 具体的な目標をもって、継続的に体力の向上を図ろうとする生徒を育成する。 自己管理に対する高い意欲をもち、基本的な生活習慣(メディアコントロール・睡眠時間・食生活)を確立する生徒を育成する。

目標達成計画

	自己肯定感・自己有用感	学力向上	体力の向上
成果	多くの生徒が「自分にもよい点がある」「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	12月のまとめテストの結果が基礎を上回る。	新体力テストで、各学年男女で県平均を超える項目を1つ以上増やす。
教育活動	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。 イ 生徒会活動において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。 イ 繰り返して学習したり、より難しい課題に取り組んだりする。 ウ 毎日60分以上家庭学習に取り組む。	ア 運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。
運営活動	ア 一人一人の役割を明確にし、望ましいモデルを示して指導する。 イ 生徒会活動において、何のための活動か、どんな役に立つ活動かを毎月生徒に指導する。	ア チャイムと同時に行う学習活動を毎時間準備する。 イ 習得や活用の場面を明確にした授業を展開する。 ウ 終学活で家庭学習カードの予定を毎日点検する。	ア 新体力テストの結果を分析し、生徒一人一人の課題に基づいたトレーニング法を指導する。 イ ショートランニングカードを活用し、6ヶ月後の数値向上を目指したトレーニングを行わせる。
	豊かな人間関係づくり	自ら学ぶ意欲の育成	基本的な生活習慣の確立
成果	多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感じる。	学ぶ意義や目的を明確にし、意欲的に学習に取り組む生徒の割合が増える。	・ハッピーライオン(睡眠調査)で、守るべき健康増進項目を意識しながら生活できる生徒を増やす。
教育活動	ア 相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。 イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	ア 理解や解決の過程を説明したり丁寧に書いたりする。 イ ワークに計画的に取り組む、期限を守って提出する。 ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	ア 自分で起床し、登校することができる。
運営活動	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動で傾聴の仕方を指導する。 イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	ア 毎単元で学び合いや関わり合いが生まれ、学習課題や学習形態等を工夫する。 イ 提出物の期限や取り組み方を継続して定期的に指導する。 ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	ア ハッピーライオン(睡眠調査)を行い、個々の睡眠の調査、面談による生徒指導を行う。

評価サイクルによる評価の実施



平成30年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画（知育）年度末評価

知	評価項目	評価基準	評価	備考
学力向上	・12月のまとめテストの結果が基準を上回る。	全体平均を100として A：105以上の教科が10/15以上 B：100以上の教科が10/15以上 C：Bに満たない	C	国 社 数 理 英 1年 98 107 106 95 99 2年 93 111 108 86 102 3年 108 99 113 116 114
教育活動	ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：95%以上が肯定的評価 B：80%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	C	肯定的評価 1学期 74% 2学期 70% 通年 72%
	イ 繰り返し学習したり、より難しい課題に取り組んだりする。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：75%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	肯定的評価 1学期 60% 2学期 50% 通年 55%
	ウ 毎日60分以上家庭学習に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで A：65%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	肯定的評価 1学期 85% 2学期 80% 通年 83%
運営活動	ア チャイムと同時に行う学習活動を毎時回準備する。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	肯定的評価 1学期 13/13 2学期 8/11 通年 21/24
	イ 習得や活用の場を明確にした授業を展開する。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	肯定的評価 1学期 11/11 2学期 10/12 通年 21/23
	ウ 終学活で、家庭学習カードの家庭学習の予定を毎日点検する。	教師の評価で A：家庭学習カード記入の声掛けと点検をほぼ毎日行った。 B：半分以上できない日があった。 C：Bに満たない	A	1学期 11/11 2学期 12/13 通年 23/24
自ら学ぶ意欲の育成	・学ぶ意義や目的を明確にし、意欲的に学習に取り組む生徒の割合が増える。	教育活動のア、イ、ウの評価で A=3点、B=2点、C=1点として、合計が A：8、9点 B：5～7点 C：3、4点	B	1学期 5点 2学期 5点 通年 5点
教育活動	ア 理解や解決の過程を説明したり丁寧に書いたりする。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：75%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	肯定的評価 1学期 53% 2学期 53% 通年 53%
	イ ワークに計画的に取り組み、期限を守って提出する。	教師の見取りで A：全員が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	肯定的評価 1学期 7/9 (78%) 2学期 7/10 (70%) 通年 14/19 (74%)
	ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	教師の見取りで A：95%以上の生徒が適切に目標設定 A：80%以上の生徒が適切に目標設定 C：Bに満たない	C	1学期 89% 2学期 82% 通年 75%
運営活動	ア 毎単元で学び合いや関わり合いが生まれる学習課題や学習形態等を工夫する。	毎単元実施しているかについての教師の評価 A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	1学期 10/11 2学期 8/11 通年 18/22
	イ 提出物の期限や取り組み方を継続して定期的に指導する。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	1学期 10/11 2学期 11/11 通年 21/22
	ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	1学期 10/10 2学期 11/12 通年 21/22

平成30年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画（德育）年度末評価

徳	評価項目	評価基準	評価	備考
自己肯定感・自己有用感	成 果 ・多くの生徒が「自分にもよい点がある」「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が70%以上 C：Bに満たない	C	1学期末合 ・「自分にもよい点がある」：80% ・「集団の役に立っている」：72% 2学期末 ・「自分にもよい点がある」：66% ・「集団の役に立っている」：48%
	教 育 活 動 ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。	生徒の学校生活アンケートで A：「言われる前に自分の役割を果たす」と答える生徒が90%以上 B：「言われる前に自分の役割を果たす」と答える生徒が75%以上 C：Bに満たない	A	肯定的評価 1学期末：88% 2学期末：90% 通年 89%
	イ 生徒会活動において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	B	肯定的評価 1学期末：79% 2学期末：72% 通年 76%
運営活動	ア 専門委員会や学級の係活動などで、一人ひとりの役割を明確にし、望ましいモデルを示して指導する。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が90%以上 B：肯定的な評価割合が75%以上 C：Bに満たない	A	肯定的評価 1学期末：100% 2学期末：95% 通年 98%
	イ 生徒会活動において、毎月、何のための活動か、どんな役に立つ活動かを生徒に指導する。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が90%以上 B：肯定的な評価割合が75%以上 C：Bに満たない	A	肯定的評価 1学期末：100% 2学期末：92% 通年 96%
豊かな人間関係づくり活動	成 果 ・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感じる。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が90%以上 B：肯定的な評価割合が75%以上 C：Bに満たない	B	肯定的評価 1学期末：81% 2学期末：93% 通年 87%
	教 育 活 動 ア 相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	A	肯定的評価 1学期末：92% 2学期末：99% 通年 96%
	イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	生徒の学校生活アンケートで A：悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できたと回答する生徒の割合が90%以上 B：誰かに相談できたと回答する生徒の割合が75%以上 C：Bに満たない	B	肯定的評価 1学期末：73% 2学期末：85% 通年 79%
運営活動	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動の場で傾聴の仕方を指導している。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	A	肯定的評価 1学期末：93% 2学期末：94% 通年 94%
	イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が90%以上 B：肯定的な評価割合が75%以上 C：Bに満たない	A	肯定的評価 1学期末：100% 2学期末：94% 通年 97%

平成30年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画（体育）年度末評価

体	評価項目	評価基準	評価	備考
体 成 果 の 向 上	・新体力テスト（全国共通テスト）で、各学年男女とも県平均を超えた項目数を1つ以上増やす。	新体力テストの結果で A：3学年男女とも項目数を1項目以上伸ばす。 B：2学年分で1項目以上伸ばす。 C：Bに満たない。 ※ 総項目数は26以上	A	1学期 2学期 1年 2 7 2年 2 9 3年 4 11
教 育 活 動	・運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで「あなたは運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツが好きですか」という質問に A：好きという生徒が男子70%以上 女子53%以上 B：好きという生徒が男子65%以上 女子48%以上 C：Bに満たない。 ※男女とも数値が上回ることをとする。 または A：全ての学年で好きと答える生徒が基準値を超える B：半分以上超える C：Bに満たない	A	1学期 2学期 1年 78% 77% 2年 82% 90% 3年 75% 82%
運 営 活 動	・新体力テストの結果を分析し、生徒一人一人の課題に基づいたトレーニング法を指導する。 （自主トレーニングカードを活用し、6ヶ月後の数値向上を目指したトレーニングを行う。）	2学期後半に室内7種目を再測定し、4種目以上向上した生徒（1・2年生）が A：75%以上を超える。 B：60%以上を超える。 C：Bに満たない。	C	1年 49% 2年 55% 3年 71%
基 本 的 な 生 活 慣 の 確 立	・「ハッピーライフ（睡眠調査）」での守るべき健康増進項目を意識しながら生活できる生徒を増やす。	睡眠調査で ① 11時までの自分の決めた時間に就寝する生徒75% ② メディアの使用が2時間以内の生徒75% ③ 自分で起きられる生徒が80% A 3項目を達成する B 2項目を達成する C Bに満たない	B	1学期 2学期 ① 85% 81% ② 88% 86% ③ 68% 56%
教 育 活 動	自分で起床し、登校することができる。 （親から起こさず、登校することができる生徒）	学校生活アンケートで 自分で起きて登校していますかという質問に A 起きることができる生徒が80%以上 B 起きることができる生徒が70%以上 C Bに満たない	C	1学期 2学期 68% 56%
運 営 活 動	・「ハッピーライフ（睡眠調査）」を行い、個々の睡眠の評価、面談による生活指導を行う。	「ハッピーライフ（睡眠調査）」の結果で 養護教諭と担任のいずれかが A 年間2回、睡眠の評価と面談による生活指導を行う。 B 年1回、睡眠の評価と生活指導を行う。 C Bに満たない	A	睡眠の評価3回 実施 面談 2回 実施

3. 学校支援地域本部事業

東北電カスクールコンサート

読み聞かせボランティア

アウトドアクラブ活動

町防災訓練

福祉施設ボランティア

東京出雲崎会との面談会

ゲートボール練習

書写指導

いじめ見逃しゼロ県民運動

いじめ見逃しゼロ集会

学校支援地域本部事業報告

出雲崎小学校 出雲崎中学校

平成31年3月

活動あゆみ

運営委員長 内藤 仁

今年度も、学校支援地域本部事業の成果により、小中両校で価値ある教育活動を展開することができました。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

地域に出掛けたり、地域の人たちとかがわったりすることを通して、子供たちはかけがえのない学びを心と身体に刻んでいます。出雲崎町の素晴らしさや誇らしさを実感しながら、確かな歩みを重ね成長しているのです。

本リーフレットを通して、小中学校の活動の一端を皆様にご報告させていただきます。たくさんの皆様を支えられた1年間でした。今後も変わらぬご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

1年

大すきいっぱいながよしいっぱい

～みんなでなかよくチャレンジ～



ヤギとなかよし

入学してから、初めての体験の連続でしたが、ドキドキワクワクしながら、たくさんの方にチャレンジしました。ヤギの「ろろ」や「りく」「りり」とのふれあいでは、命の温かさを感じ、協力することの大切さを学びました。ほなみが丘の自然や、芋掘り、そり遊びなど、自然・生き物・人々との関わりはすてきな宝物になりました。



ほなみが丘探検



サツマイモ掘り

2年

えがおでチャレンジ! がかわろう

～自然の恵み・地域の方との出会い～

夏野菜ピザ完成!

梅林での梅もぎ体験・梅ジュース作りを通して、地域のよさと恵みを感じました。野菜作り体験では、栽培の苦勞と収穫の喜びを味わいました。親子で作った「夏野菜ピザ」は最高でした。大根作りでは、収穫後、JA「青空市」で販売体験をして地域の方とふれ合いました。栽培・収穫・販売活動は貴重な体験で、成長の機会となりました。



梅もぎ体験

いっぱい
なってるよ。



太く育ったよ。

大根の収穫



青空市

いらっしゃい!
安いよ!

3年

ぼくたち・わたしたちの出雲崎町

～自まんがいっぱい!～



良寛記念館

良寛さんて、
どんな人?



給食に出る
牛乳は
ここから
なんだね。

諸橋牧場



妻入り会館

間口は狭いが、
奥に長い家だよ!



天上大風も
書いたよ!

大漁旗を作ろう

出雲崎町には、良寛さんにかかわるものや建物がたくさん残されています。3年生は、良寛さんを題材にして、6枚の大漁旗を作成しました。また、良寛記念館に向いて、良寛さんの書を見たり、詳しいお話を聞いたりしました。夕日の見える丘公園もとても素敵でした。他にも「妻入り会館」や「天領の里」等の出雲崎の古い時代の事が分かる建物や「ふれあいの里」や「きらり」等の町の人々が自由に利用できる施設も見学しました。毎日給食で飲む牛乳のルーツも探りました。出雲崎には、自慢できる場所がいっぱいありました。自分たちで実際に行きよさを感じることで、より出雲崎が好きになりました。

4年

宝がいっぱい出雲崎 ~自然と共に生きる~

宝物「ほなみが丘」では、たっぷり遊び、植物を調べ、山菜の調理をし、里山のよさを学びました。またエコパーク出雲崎の職員の方と、木の実や葉っぱなどを使った木工作品作りも行いました。社会科では町の消防・水道・ごみ・警察について様々な方から教えていただき、出雲崎についての考えを深めました。



木工教室



浄水場見学



ちまきづくり

5年

「食」の力 ~見つめよう! わたしたちの「食」~



やった~!
収穫だ!

「米や野菜をつかってみたい」という子供たちの言葉から、米づくりに挑戦しました。JAさんからご協力をいただき、田植えや稲刈りはもちろん、日々の稲の観察や脱穀、もみすり、精米も自分たちの手で行いました。できたお米は“ひのき米”として、たくさんの人に食べていただきました。自分たちの育てた米はおいしく感じたところから、いつも当たり前で食べている食べ物は、手間ひまかけて育てられ、いろんな人たちの手間と苦労によってできていることに気付くことができました。



精米機スイッチON!



JAのみなさんに“ひのき米”のお礼

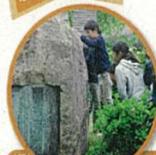


長岡うまい米コンテストで活動発表

6年

ふるさとに生きる ~これからの自分の在り方を考えよう~

佐渡からの金銀荷揚げや北前船の寄港地として栄えた出雲崎町。どのように歴史を刻んできたかを学習しました。また、様々な分野で活躍される方々に来校していただき、経験談を聞きました。子供たちへこれからの生き方への指針や励ましの言葉も頂きました。話を聞くことを通して、子供たちは現在の自分を見つめ直し、目標をもつ大切さを学び、新たな目標を設定しました。将来の自分や出雲崎町の姿を想像し、よりよい未来に生きるために、粘り強く何度も自分の考えを練り上げながら学びを深めました。



出雲崎と佐渡の繋がりを学ぶ
天領の里の見学
磯部コーディネーターからの講話
佐渡の修学旅行



陸上を通して
高橋進さんの生き方に学ぶ



巨大書を通して柳澤魁秀先生に
今後の自分の在り方について学ぶ



出雲崎町在住の方々から
生き方を学びました。

ふるさとの魅力あふれる人から学ぶ



1年 良寛学習

各学年出雲崎人に学ぶ

出雲崎中学校の取組

～ふるさとへの愛着と誇りを育てる～

ふるさとを知る・考える

出雲崎の産業、伝統や文化を学んだり、他地域の巡検を通して出雲崎の未来を考えたりしました。

1年 良寛史跡巡り



2年
新潟巡検から未来の出雲崎
を考え、こども議会で提案

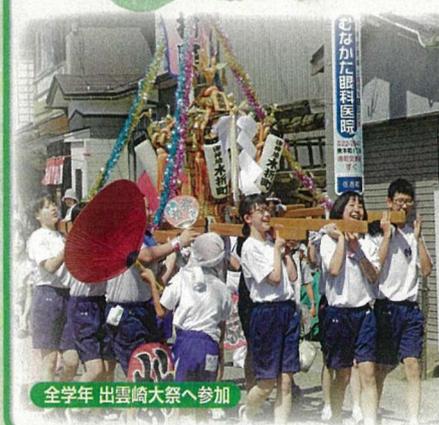
- テーマ
- 1 「海」の環境と守り
 - 2 「自然豊かで住みやすい出雲崎を
保ちたい」
 - 3 「住みやすさ」の町を作るために
 - 4 出雲崎の観光客と町民には
 - 5 出雲崎の人を集めるには
 - 6 出雲崎の情報を伝えたい

1年 職場体験



『学ぶ』だけでなく、出雲崎町に貢献したり、
様々な人と交流したりする活動を行いました。

ふるさとに貢献する



全学年 出雲崎大祭へ参加



3年 町防災訓練で炊き出し



吹奏楽部 船祭り参加



3年 福祉施設訪問



全学年 町体育館清掃

IV 社会教育事業の事業実施状況

1. 社会教育・公民館事業

①青少年教育事業

事業名	事業の対象	実施内容
夜間キッズ 「レベルアップ コース」	小学校4～ 6年生	実施回数 全18回実施予定(7月～3月) 第2及び第4の水曜日 19:00～20:30) 会 場 町民体育館 講 師 柏崎市レクリエーション協会 白川 氏 参加者数 1回あたり約10人 内 容 運動能力向上のため主体性や多様な動きを体験 する内容 コーディネーショントレーニング (運動あそび)、スポーツ鬼ごっこ、 ドッジボール等のボール遊び
学びアシスト 「きらり塾」	中学校2年生 3年生	実施回数・中学校3年生 第2及び第4の水曜日 19:00～21:00 全18回 前期7月～10月 12人 後期11月～2月 6人 ・中学校2年生 第1及び第3の水曜日 19:00～21:00 全10回 後期11月～3月 6人 会 場 「子は宝」多世代交流館 きらり 講 師 遠山 昇 氏 内 容 「学習習慣を身につけたい」「苦手科目を克 服したい」「受験に向け不安がある」などの 悩みを解消。5教科を対象とした自主学習。
放課後子ども総合プラン 放課後子ども教室	小学校1～ 6年生	実施回数 子ども教室：年60回 会 場 出雲崎小学校(生活科室) 参加者数 1年生：10人(2学期から) 2年生：16人 3年生：11人 4年生：9人 5年生：6人 6年生：3人 内 容 放課後等の安心安全な居場所づくりに地域の教 育力を活かし、体験や交流、学習など多様な活 動の機会の提供 英語学習(英語の音に親しむ、身近なものの単 語のよみかきなど)

<p>放課後子ども総合プラン</p> <p>放課後児童クラブ (放課後児童健全育成事業)</p>	<p>小学校1～ 6年生</p>	<p>実施回数 通年(月～金放課後、振替休業日、長期休暇期間)</p> <p>会 場 出雲崎小学校体育館内 児童クラブ室</p> <p>登 録 数 1年生：13名 2年生：16名 3年生：10名 4年生：6名</p> <p>内 容 昼間保護者が不在となる家庭の児童の保護保育を 図るため、遊びや生活の場を提供</p>
--	----------------------	--

②成人教育事業

事業名	実施内容
<p>出雲崎総合大学</p>	<p>実施回数 全12回開催(歴史・文化・料理など幅広く実施)</p> <p>受講者数 46人(延べ309人)</p> <p>実施内容 住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力あふれる、生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的とした学習講座。 (主な講座)・出雲崎の和算文化と算額 ・源川彦峰の作品展示と良寛書画展 ・県立歴史博物館出前講座「佐渡金山絵巻の世界」 ・越後の木喰仏 ・出雲崎の人物など</p>

③町民文化教室事業

事業名	実施内容
<p>料理教室</p>	<p>実施日 6/16(土) 初夏に食べたいさっぱりメニュー 9/1(土) 塩昆布を使った和食ご膳 12/15(土) 冬野菜を使ったほっこり和食メニュー 3/16(土) 春のおしゃれランチメニュー</p> <p>参加者数 計 41人</p> <p>時 間 土曜日 10:00～12:00</p> <p>講 師 井原 美佐子 氏</p>
<p>フラワー アレンジメント 教室</p>	<p>実施日 6/2(土) 大人色のバラのアレンジ 8/4(土) 爽やかなグリーン&ホワイトの プリザーブドフラワーアレンジ 10/31(水) 秋のおくりもの～秋の実りをたっぷり盛り込んで 12/1(土) 花のクリスマスツリー 12/22(土) おめでたい手作りしめ縄 3/9(土) 春の訪れを感じるアレンジメント</p> <p>参加者数 計 47人</p> <p>時 間 水曜日、土曜日 10:00～11:30</p> <p>講 師 明田川 綾子 氏</p>

おうちパン講座	実施日 12月22日(土) 10:00~12:00 内容 「クリスマスレシピ」
	1月19日(土) 10:00~12:00 内容 「かぼちゃのうずまきパン」
	2月9日(土) 10:00~12:00 内容 「バレンタインレシピ」
	参加者 計32人(うち子供10人) 講師 細木 百合子 氏(おうちパンマイスター)

④文化活動事業

事業名	実施内容
文化芸術鑑賞会	対 象 出雲崎小、中学生及び一般町民 来場者約 350 人 実施日 5月23日(水) 内 容 魚沼産☆夢ひかり キッズミュージカル「ピーターパン」
東京藝大生招致事業	参加者数 東京藝術大学 大学院生 18人 実施日 8月2日(木)~5日(日) 3泊4日 内 容 街並スケッチ画を制作し、完成した作品の鑑賞会と作品を町へ寄贈。出雲崎小中学生を対象としたスケッチ画講習会を実施
第12回未来の夢こども体験講演会	対 象 出雲崎小、中学生及び一般町民 来場者約 330 人 実施日 10月23日(火) 講 師 金田一 秀穂 氏
第14回良寛さん心の書道展	目 的 子供たちに良寛さんのやさしい心を継承する 対 象 出雲崎小、中学生 応 募 数 249 点 展示期間 9月8日(土)~17日(月・祝) 会場: 中央公民館講堂
生涯学習フェスティバル	作品展示 11月2日(金)~3日(土・祝) 出展者 12団体+個人21人 ステージ発表 11月3日 出演団体14団体 その他の催し物 11月3日実施 町民茶会(町婦人会) 防災コーナー、交通安全コーナー(総務課) 健康づくりコーナー(保健福祉課) 廃棄図書の無料配布(図書館)
文化サークル活動助成	・7サークルに助成 陶芸、太極拳、大正琴、書道、ガーデニング、英会話、ちぎり絵
関係団体活動助成	・奥の細道天の河俳句大会実行委員会 ・出雲崎妻入りの街並景観推進協議会 ・街並活性研究会 ・諸橋湘江・竹之内春斎展実行委員会

事業名	実施内容
良寛記念館	<p>○年4回の企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の企画展「良寛の実像展」～良寛さまの生涯をたどる～ ギャラリートーク 4月15日（日）開催 ・夏の企画展「子どもたちの良寛展」～良寛さまの逸話を学ぼう～ ギャラリートーク 7月7日（土）開催 ・秋の企画展「良寛と良寛を敬慕した画家展」 ～安田靉彦、富川潤一、こしの生涯、河内舟人、横尾深林人～ ギャラリートーク 10月14日（日）開催 ・新春特別企画展「金澤翔子展」～魂の書家二人 良寛と金澤翔子～ 講演会と揮毫パフォーマンス 3月24日（日）開催 <p>○良寛記念館ライトアップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国登録有形文化財の「良寛記念館」をライトアップ 期間 7月29日（日）～8月18日（土）18：30～21：00 <p>○良寛メディア広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青壮年層以上への良寛認知度の向上を目的とし、テレビ・SNS等で良寛についての放送等実施。また、良寛記念館において館長とアナウンサーによるミニトークショーを実施。 11月3日（土）テレビ放送 11月4日（日）良寛記念館でミニトークショー及び無料茶席を実施 <p>○高崎市・倉敷市良寛書画展</p> <p>目 的 良寛・良寛記念館及び出雲崎町の認知度を高めるため良寛書画展を企画。</p> <p>展示内容 町所有の良寛の遺墨等10点・良寛アニメーション「天上大風」の上映と原画の展示。（倉敷市では、さぎえの炊込みご飯物産の販売も実施）</p> <p>開 催 日 高崎市 7月21・22日（土・日） 倉敷市 11月10・11日（土・日）</p> <p>来場者数 高崎市 書画展224人 倉敷市 書画展207人 物産販売2,000人</p>



芸大生スケッチ画展示会



文化芸術鑑賞会

⑤学社連携事業

事業名	実施内容
学校・家庭・地域の連携事業 (学校支援地域本部)	学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整えることを目的としている 地域コーディネーターが中心となって、地域のボランティア（学校支援ボランティア）や団体と協力して小中学生を対象に活動を実施
家庭教育学級	実施日 平成30年9月1日（土） ※にいがた連携講座との共催で実施 講師 新潟青陵大学大学院 碓井真史 教授 演題 「困った子、困っている子の支え方 ～頑張っている大人のための子育て心理学」 来場者 53人



放課後児童クラブ



高崎良寛書画展

⑥その他事業

事業名	実施内容
公民館だより発行	毎月1回（4ページ）、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」発行し、町の全世帯に配布。町ホームページにも掲載。 仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。
生涯学習 カレンダー作成	公民館、町、保育園、学校などの事業予定を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に3月7日に配布。（作成部数1,850部）

⑦公民館利用者数

平成 29 年度		平成 30 年度	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
3,074 人	10,908 人	3,081 人	11,699 人

⑧良寛記念館入館者数

平成 29 年度		平成 30 年度	
入館者数	物品販売額	入館者数	物品販売額
9,751 人	2,774,867 円	10,225 人	2,458,433 円



東京藝大生スケッチ画講習



良寛記念館ライトアップ



生涯学習フェスティバル作品



絵本作家おはなし会

2. 図書館事業

① 図書館利用状況

表1：分類別利用状況

	平成 29 年度		平成 30 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総 記	23 冊	2 冊	16 冊	17 冊
哲 学	77 冊	27 冊	73 冊	38 冊
歴 史	59 冊	20 冊	97 冊	49 冊
社会科学	54 冊	29 冊	59 冊	38 冊
自然科学	59 冊	25 冊	53 冊	60 冊
技 術	73 冊	30 冊	64 冊	51 冊
産 業	24 冊	10 冊	15 冊	9 冊
芸 術	94 冊	18 冊	152 冊	49 冊
言 語	11 冊	2 冊	26 冊	4 冊
文 学	1,743 冊	1,054 冊	2,058 冊	948 冊
雑 誌	145 冊	27 冊	130 冊	34 冊
計	2,362 冊	1,244 冊	2,743 冊	1,297 冊

表2：図書貸出年齢別貸出人数

	平成 29 年度		平成 30 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
成人（23歳以上）	792 人	403 人	874 人	414 人
学生・生徒 （13歳～22歳）	9 人	7 人	3 人	5 人
児童（12歳以下）	45 人	22 人	80 人	15 人
合 計	846 人	432 人	957 人	434 人

表3：年齢別図書館利用人数

	平成 29 年度		平成 30 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
成人（23歳以上）	505 人	97 人	488 人	96 人
学生・生徒 （13歳～22歳）	41 人	19 人	41 人	18 人
児童（12歳以下）	175 人	20 人	122 人	15 人
合 計	721 人	136 人	651 人	129 人

表4：図書購入状況

	平成 29 年度		平成 30 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総 記	4 冊	2 冊	4 冊	2 冊
哲 学	16 冊	3 冊	9 冊	2 冊
歴 史	14 冊	2 冊	28 冊	3 冊
社会科学	18 冊	13 冊	25 冊	8 冊
自然科学	31 冊	17 冊	20 冊	5 冊
技 術	22 冊	8 冊	10 冊	10 冊
産 業	8 冊	1 冊	3 冊	1 冊
芸 術	12 冊	1 冊	24 冊	2 冊
言 語	2 冊	3 冊	4 冊	0 冊
文 学	265 冊	194 冊	297 冊	197 冊
計	392 冊	244 冊	424 冊	230 冊
(雑誌種類)	6 種類	3 種類	6 種類	3 種類

②その他事業

事業名	実施内容
ブックスタート事業	1歳6ヶ月になる幼児に絵本2冊を贈呈
親子文庫	小学校を通じて、小学2～5年生の家庭に対し、本のセット（児童とその保護者）を貸出
除籍図書の無償配布	11月3日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償配布
子ども読書活動推進 (絵本作家おはなし会)	実施日 8月18日(土) 会場 中央公民館 講堂 講師 絵本作家 川端 誠 先生 内容 テーマは「絵本ライブ」「じゅげむ」などの絵本シリーズの制作講演会と読み聞かせ 来場者 48名



3. 社会体育事業

①町内大会

大会名	実施日	備考
第38回 町民ソフトボール大会	5月27日(日)	4チーム 42人
第40回 町民バレーボール大会	7月8日(日)	6チーム 68人
第12回 町民ウォーキング	9月30日(日)	47人
第37回 町内ゲートボール大会	10月3日(水)	8チーム 55人
体力測定会	10月17日(水)	28人
第2回 町民ソフトバレーボール大会	10月28日(日)	12チーム 80人
第3回 町民卓球大会	12月9日(日)	16チーム 80人
第32回 屋内ゲートボール大会	2月7日(木)	8チーム 54人
第38回 町民バドミントン大会	3月17日(日)	5チーム 40人
町民登山	8月11日(土祝)	8人(弥彦山)
	10月8日(月祝)	15人(角田山)



町民登山



柔道昇級審査会

②スポーツ教室等

大会名	実施日	備考
わんぱく水泳教室	7月20日～8月3日 全5回	申込：33人 延べ：154人
柔道教室	通年(火・金)	16人

大会名	実施日	備考
剣道教室	通年（月・金）	3人
親子インディアカ教室	9月～10月 全5回	申込：13人 延べ：50人
テニス教室	5月～11月 全20回	申込：7人 延べ：106人
フットサル教室	8月～10月 全5回	申込：9人 延べ：27人
柔剣道昇級審査会	12月1日（土）2日（日）	19人
さわやかスポーツ教室	通年（火）	31人
背骨コンディショニング教室	5月～12月 全10回	44人 延べ：204人
小学生スポーツチャレンジ教室	サッカー：5～9月 全20回 バレー：5～9月 全18回 卓球：10～11月 全8回 バスケ：10～11月 全8回	サッカー 申込：48人 延べ：487人 バレー 申込：21人 延べ：300人 卓球 申込：19人 延べ：125人 バスケ 申込：9人 延べ：62人
スキー&スノーボード教室	2月17日（日）	須原スキー場 30人参加



テニス教室



フットサル教室

③体力づくり事業（実施場所：町民体育館2階トレーニング室）

事業名	実施日	備考
トレーニング教室	第1期：5月～10月全20回 第2期：10月～3月全20回	申込：21人 延べ：274人 申込：24人 延べ：206人

④ 体育協会主催事業

事業名	実施日	備考
姉妹都市 中学生交流スポーツ大会	7月16日(月祝)	会場：出雲崎町 出雲崎町45人・柳津町41人
姉妹都市 親善スポーツ大会	9月24日(月・祝)	会場：柳津町 出雲崎町38人・柳津町33人
第17回 出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日(日)	16チーム90人

⑤ スポーツ推進委員関係

事業名	実施日	備考
中越地区社会体育研究協議会	4月18日(水)	長岡市
北陸地区スポーツ推進委員研修会	6月23日(土)～24日(日)	石川県
二市三刈羽ブロック研修会	8月25日(土)	刈羽村
新潟県スポーツ推進委員大会	9月29日(土)～30日(日)	佐渡市

⑥ 長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

- ・スポーツ指導者派遣事業
「コーディネーショントレーニング教室」 1月～2月(全5回)



柳津町・出雲崎町中学生スポーツ交流大会



近郷ゲートボール大会

⑦ 体育施設利用状況

	平成29年度	平成30年度
町民体育館	27,623人	29,985人
(トレーニング室)	(9,189人)	(10,638人)

(ミーティング室)	(383 人)	(545 人)
町民野球場	4,544 人	4,342 人
多目的運動場	49 人	1,290 人
プール	4,252 人	4,878 人
柔道場	1,286 人	1,401 人
屋内ゲートボール場	5,568 人	5,597 人

▶ 概 要

平成 30 年度は、青少年や一般成人等を対象とした各事業について、学習ニーズの高まりや多様化に対応できるように内容の一層の充実を図ってきた。

1. 未来を担う子供たちの人間力を高めるため、就学前幼児や小中学生を対象とした教室、保護者を対象とした家庭教育学級等の内容の充実を図った。
2. 町民のニーズに応じた幅広い講座や文化教室を推進し、内容の充実を図りながら、学習機会の促進を図った。
3. 家庭学習の指導にも発達段階に応じた指導を進めている。どの段階でどのような指導を行うことが必要なのか、学校、家庭、教育委員会が連携を取りながら家庭学習の充実・定着を図っている。

▶ 成果と課題

1. 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立を防ぎ、仲間づくりにつながるのので有効なものと考えている。一方、講師の高齢化や参加者が固定化により新規参加がしにくいことや若者参加の掘り起こしを行い、今後もニーズを捉えた教室開催が望まれる。
2. 総合大学では人気があり、「講座終了後も設けてほしい」などのニーズがあるため、今後も多彩な講座やセミナーを計画し、身に着けた知識や技能を地域などで役立たせる人（コーディネーター）を増やす必要がある。
3. 放課後児童クラブの運営では常に定員を超える申込みがあり、現在のクラブ室では手狭なため空き教室を利用した体制や支援員の指導力向上が課題となっており平日、長期休暇に利用者のニーズにあった運営が必要となっている。
4. インターネットやスマートフォンの普及により読書離れが進んでおり、子供たちの健やかな成長には読書を推進していくことが重要で、子供読書活動推進計画により学校・家庭における読書推進を図らなければならない。
5. 中公 3 階の郷土資料室ではボランティアによる資料整理がほぼ完了し、常設展示や空家の活用などで積極的に展示するなど気軽に立ち寄れる場所づくりを目指す。
6. ネット社会の進展により、子供たちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合っって子供たちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
7. 国の打ち出している総合戦略の中で、人口増加対策・交流人口を増やしてい

く政策を進めなければならない。町の重要な観光施設である良寛記念館の再生をハード、ソフト両面から検討し、より充実した施設整備とPR活動の展開しなければならない。

8. 伝統芸能の育成は団体に働きかけ行いながら、一方で青少年育成講座などの教室に興味を持ってもらう動機付けが必要であるので、指導できる体制づくりをめざす。
9. 当町の北前船に関する文化財をPRするため、日本遺産登録に向けて推進協議会に加盟し、今年4～5月の文化庁認定登録をめざし、今後の町の地域振興につなげていく。

V 学校・社会教育施設の整備充実

<p>▶整備の状況</p>	<p>1 学校教育施設の主な整備状況</p> <p>(1) 出雲崎中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キュービクル改修工事 ○校舎棟空調設備改修工事（繰越） <p>2 社会教育施設の主な整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財試掘調査委託 ○良寛たずね道園路整備工事 <p>3 社会体育施設の主な整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町民野球場外壁塗装工事 ○町民野球場内野整備工事
---------------	--

▶概要

当町では、学校教育施設や社会教育・社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修工事や機器の購入などの整備はおおむね完了した。また、本年度は町民体育館の老朽化による雨漏り防止のため改修工事の設計委託を行った。

▶成果と課題

学校施設は、昨年度小学校、今年度中学校で夏場学習環境の改善を図るため空調（エアコン）設備工事を行った。これにより熱中症などによる保健室への来室者が減り効果があった。

社会教育施設では3年目となる八手地区の圃場整備における埋蔵文化財の発掘調査を実施した。また、良寛記念館の園路整備を行い、駐車場から展示棟へのバリアフリー化を行った。

社会体育施設では4月から多目的運動場のテニスコートを人工芝の多目的に使用できるように整備し、町民の健康増進とスポーツ振興に役立つ施設として利用率向上を図っていく。

今後とも、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

VI 学識経験者からの総合評価

元長岡市立北中学校長 山崎 十五郎

先行き不透明な潮流の中で、社会は常に未来を予測しながら動いている。貴教育委員会は、教育計画の冒頭において、確たる時代認識の元で教育の理念について明記されている。

このことは、何よりも地域住民の信頼に込められていると言える。地方創生が謳われて久しいが、「まちづくり」の一環として教育分野の果たす役割は極めて大きいものがある。

新たに作成されたリーフレット、「いずもぎき5つの教育」は「第5次出雲崎町総合計画」に基づいて、教育の根幹をなす「知」「徳」「体」に加えて、郷土の風土「財」と「愛」を取り上げている。これらはとても見やすく、かつまた先進的な内容を含んでおり、貴町のブランドになっている。

教育委員会の活動においては、町長招集の「総合教育会議」の開催をはじめ、制度改革の趣旨を生かすべく積極的な取組が見られ、委員会がよく機能していることが窺える。いじめ防止に関しては、「出雲崎町いじめ防止基本方針」により、即時対応やチーム学校としての取組などがなされている。また、国が進める働き方改革に対しては、かねてから学校体勢を充実させるべく人的確保に配慮がなされている。新学習指導要領では、英語の早期教育とプログラミング教育が始まる。それを見据えて英語指導員、情報教育支援員、そして理科支援員がすでに配置されていることは高く評価したい。

学校教育においては、小学校・中学校ともグランドデザイン（「教育計画」参照）に、校長のヴィジョン（使命・理想）が描かれており、リーダーシップ（出雲崎の子どもを育てようという気概）とマネジメント（職員指導）に素晴らしい力量が感じ取れる。このことは日常の子どもたちと教師の接し方に陰に陽に現れるものと思う。

学校評価もきめ細かく行われている。しかし項目によっては児童と保護者の間で数値に大きな差が出ているものがある。また相手（仲間）の立場を尊重しようと努めているのに、自分自身の良さになかなか気づけないという点も見られる。思春期の複雑な心情もあると思われるが、今後とも自己有用感の育成に努めてほしい。

学校支援地域本部事業は、年度を重ねるごとに充実したものとなり、子どもたちは発達段階に即して実体験を積み重ねるとともに視野を広げることができ、郷土に対する誇りと愛着を深めているものと思われる。今後とも学校、家庭、地域住民等の相互連携により一層進めていくことが期待される。

元号が変わり、新しい時代を迎える。教育においては子どもたちが一人ひとり幸福な人生を自ら創り出していけるように、「社会に開かれた教育課程」が求められている。学校及び社会教育の関係機関と行政が一体となり、力強く前進していくことを祈念する。

Ⅶ その他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立北中学校長	山崎 十五郎	柏崎市在住 (旧西山町)

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	備 考
教育長	佐藤 亨	
委員	村越 隆夫	教育長職務代理者
委員	内山 才子	
委員	佐藤 正志	
委員	大磯 多華子	

—職員名簿—

職 名	氏 名	備 考
教育課長	矢島 則幸	
管理指導主事	高畑 秀紀	
教育課参事	矢川 浩之	
教育課係長	吉岡 育子	
教育課係長	渡辺 一敏	
教育課主任	小林 ひろ子	
教育課主任	山崎 健太	
教育課主事	小岩 悠樹	
事務職員	竹村 しのぶ	
事務職員	小川 真紀子	
用 務 員	小林 秋子	
清 掃 員	柴田 圭一	
良寛記念館 館長	永寶 卓	学芸員
同 事務職員	本間 勲	
同 事務職員	小黒 晴美	
同 事務職員	大久保 淳子	